

インドネシア気象気候地球物理庁研修受入報告書

日時及び場所 2024年12月10日 藤沢市役所
研修主催者 一般社団法人アジア防災センター(ADRC)
講師及び担当 藤沢市役所 防災政策課・危機管理課

I. 概要

2024年12月10日、一般社団法人アジア防災センターからの講義依頼に基づき、インドネシア気象気候地球物理庁研修(全行程28日間)の一部を、インドネシア気象気候地球物理庁職員34名を対象とし、藤沢市役所にて実施いたしました。

II. 目的と背景

(1)目的

日本の地方自治体における地震早期警報の事例や防災啓発の取り組みについて学ぶ。

(2)背景

インドネシアにおいては、日本と同様に大規模な地震が頻発し、多くの貴重な生命や財産が失われている。日本において整備が進んでいる、地震早期警報システムを学び、参加者のスキルを向上させる必要がある。

III. 参加者情報

(1)参加者:38名

(2)参加者属性:インドネシア気象気候地球物理庁職員 34名(25~50歳) 同行者 4名

IV. 実施内容とプログラム

(1)14:00~15:00 地震体験車の試乗

・最新デジタル技術であるVRと揺れを連動させ、仮想現実の中での地震を体験した。

(2)15:00~15:45 パネルディスカッション「藤沢市の防災システム」

・地震災害時の市民への情報発信システムについて、活発な意見交換が行われた。

(3)15:45~16:15 実基盤講習

・地方自治体が整備している「Jアラート機器」について、実基盤を前に説明を行った。

~FOTO INGATA~ TNERIMA KASIH SELAMAT TINGGAL



indonesia trivia

インドネシアの人口は、約2億7千万人で、世界第4位の人口を誇り、日本の約1.3億人と比較しても大きな差があります。

国土は約190万km²で、日本の約37万km²と比べ約5倍以上の広さです。1万7千以上の島々から成り立ち、多様な文化や言語が共存している点が特徴的です。

